〔可認物便郵種三第〕 昭和九年十二月二日 磐城新聞 〔日曜日〕 第四千九百十二號 〔一〕

夕刊 磐城新聞
十二月一日發行

政友會の場合

東京から

エム・エス生

高橋藏相の入閣は、はからずも政友會を窮地に追込む副作用を起して、政界の局面を一轉せしめた觀がある。政友會が大義親を滅すの聲明書を發して、高橋藏相と袂を分たざるを得なくなつた苦衷は察するに餘りあるが、殘された問題はいかに此の難局を打開するかにある。

元來、政友會をして著しく戰鬪的ならしめたものは增税案をめぐる藤井前藏相への不信任であつた。組閣當初の政黨輕視問題に端を發した政友會の現內閣に對する反目は、藤井財政への不信任によつて拍車をかけられ、反政府的氣分をいよいよ濃厚ならしめたのであつたが、高橋藏相の就任によつて、はからずも進退兩難の苦境に立たさるゝに至つた。政友會問陣の先頭を承る筈の堀切善兵衛氏の如きは、二十年來高橋藏相に師事し來つた人で、釋迦に說法せねばならなくなつた運命の皮肉をかこつてゐることであらう。また高橋藏相が大臣席にをさまつてゐる以上、政友會議員三百餘名中の幾割かは終始沈默を餘儀なくされるであらう。しかし政友會としては、すでに高橋藏相を事實上除名した以上、公々の面目としても今更ら旗を卷けぬ立場にある。既定方針通り本會議においても豫算總會においても、高橋財政を徹底的に糾彈せねばならぬ立場に置かれてゐるのである。

この場合政友會としては高橋藏相の政治道德無視論を拾ひ上げるかも知れぬ。即ち齋藤內閣死解の原因をなした大藏省事件の責任者として、高橋藏相が部內統制不行屆の責を負うて辭職してから僅かに五ヶ月しか經過せず、しかも當事件は現在審理中で、まだその結果も判明せぬ今日、再び藏相として閣員に列するは政治道德を無視せるものであるとの反對論を取り上げるかも知れぬが、これは一方過ぎれば個人攻擊のそしりを受くる恐れあり、問題としては拙劣たるを免れぬ。やはり大局的立場から國策問題を提げて堂々の論陣を進むべきである。即ち增稅問題、在滿機構改革に伴ふ官紀紊亂問題、災害對策の不徹底、軍事費と產業費との不均衡等をはじめ豫算案の全分野に亘つて果敢なる論戰を展開すべきであらう。之れに對して政友會內の軟論としては高橋翁の入閣は政治への復歸を意味し從來軍部のロボツトとみられてゐた無能岡田內閣が高橋藏相の壓力に依つて軍部を牽制し、更らに官僚をも抑壓して、政黨政治への還元の礎地が培養されるものであり、且つ高橋翁の入閣により、藤井財政がやがて政友會財政に轉換するのであるから、むしろ國家的立場に立つて對政府關係を變更すべし等の論がなされるであらう。もし政友會にして軟化するとせば、岡田內閣は更らに補强工作によつて從來の弱体的頹勢をもり返して、逆に政黨をリードし、餘勢をかつて通常議會をもさしたる困難なく突破し、その結果はいよいよ政黨輕視の傾向を濃厚にするであらう。この意味に於ても今日の場合における政友會の態度は注目さるべきである

短歌會

一、期日時　十二月二日(日曜)午前十時より
一、場所　マルトモホール
一、題　(煙草)(近作)各二首以內　十一月三十日迄本社宛送付の事
一、會費　金二十錢

山家

兒玉柴門

雪の高山

まだあかるいが家には灯りつきました
軒につるした凍豆腐
冬至のちかい澤の村
幌かけ馬車が下つて行つたわだちのあとはもう堅い

潮聲硯靜抄帳

新城世嘉選

○雜詠　當季

果樹園に何やら草の紅葉して　森里
高々と桐の梢にケキの鳴く　晩霞
中秋名月盧子先生の放送を聞く
月の發句聞くかたわらの萩芒　武門
馥郁と木犀の香や閣を縫ふ　長貴
後の月花のほゝけし芒あり　眞砂常
屋根の石ぬれてありけり後の月　一來
蔦咲くや崖を後に天主堂　柴子

○

霜霽れの日ざし明るき新疊、煙草のけむをうつしてゐるも　小幡重男
丹念に炭つぐ妻の老いにけり　亞浪

社會の今日

12月2日 △巡査帶劍(明治一五)△興安嶺に據る反軍蘇炳文我軍の討伐に總崩れとなる(昭和七)

12月3日 △太陰暦を太陽暦に改め此日を六年一月一日とす(明治五)△法曹界の老宿花井卓藏博士逝く(昭和六)△第七回汎米會議モンテヴイデオ市に開催△ハワイ島の世界最大のマウナロア火山大爆發△曹洞宗大本山永平寺後任貫主に秦慧昭師當選(同八)

講談　戸隱奇譚　山の怪秘 (53)

丸山寬雄作　眞木浪畫

圓岩の二人 (四)

やんわりとした夕靄が行手を包んでゐた

平七郎とヤマトは、その中を肩を並べて進んだ。しつとりとした露のやうなものが平七郎の肩先から着物を透して沁み込む。もう山の夜氣が迫つて來たのであ

ヤマトが言つた

二人は正面を向き肩を並べて歩いてゐるのであつたが、お互の横顔が見かはせたら。ヤマトにとつては、きて合つて語るより話しよい位置であつた

「夢の中にでもゐるやうぢや」

平七郎も同じやうなことを言つた

突然、二人の行手に當つて、ぼうと濃色の光が夜霧の中に滲んだ。やがて薄れてまた前よりはつきり光を增したりする。ほたる火であつた——

「おゝ、もうほたるが出るな」

平七郎は始めてこのとき初夏の季節を思つた。同時に幼い時分、下女と一緒に村はづれにほたる狩をして小川に落ち込んだことなどを、ほゝゑましく思ひ出してゐた

ヤマトは手元へ流れて來るほたるを懸命になつてつかんだ。と、これと同時に平七郎の手もふとそれを追つた。二人の手は偶然しかりと組み合された。が、ほたるの光はにぶつて地上へはかなく落ちた

ヤマトは不意に平七郎に手を握られて、燃ゐるやうな情感を覺えたのであらう直ぐさま、振りほどいて地上に落ちたほたるを追つた

「今度お逃がしになれば嫌でございますよ」

ヤマトは少し甘ゆたれた口調で言つて、賴もしい平七郎に摑まれた觸感、ヤマトはその力强い壓力が手の中に殘つてゐるやうに思はれた

平七郎も、偶然に摑んだヤマトのむつちりした兩手の甲、しなやかに固まつた指、組んだ手は直ぐに振りほどいたが、その小鳥の胸毛をいぢつたやうな觸感は容易に彼の胸から離れなかつた

二人の身近くに一本の大木が轉かつてゐた。もみの木で太郎一味のものが伐り倒して干して薪にするためのものである

平七郎もヤマトも言はず語らずのうちに、その上へ並んで腰をかけた

二三間隔した叢の向ふにほたる火が靜かに上下してゐる

「拙者も、そなたからはいかい厄介になつた。このお禮はどうしてよいやら…」

平七郎はしんみりと言つた

「まあ、お禮などゝ左樣なこと……」

ヤマトは、しとやかに言つた

「拙者も思はず長居を致したが、そなたに救へられたあの靈泉で、もはやこれ程に顏の傷も癒えた。此上は近い中に江戸へ向けて發足致さねばならぬと思ふ」

「では、どうあつても刈馬樣、此處にはもう永くお留まり下されぬのでございますか」

ヤマトは絶え入るやうな聲で言ふ。もう暫らく平七郎を引止めて置きたい念で一杯ではあるが、しかし自分の言葉位で平七郎を引止め得られるか、どうか。矢張り自分には係はりのないお方かも知れない

ヤマトは自分の力に及ばぬことのやうに心弱く思つたか、それでも去り行かうとする平七郎を、このまゝに立ち去らされない焦慮で一杯だつた

暗示とは何ぞや

日本姓名學會東北支部長　鵜沼孝昌

(上)

暗示とは一つの觀念を與へる事である、然らば意識に浮ぶ觀念は皆暗示であるかと云ふに其は然うには違ひないけれども其の外で外部の他より與へられた或一つの觀念の場合丈けを來する、その場合丈け暗示と稱するのだ、即ち外部から其の觀念によつて其が意志過程となつて現はれる樣に與へられた、又現れた觀念である(自ら與へる觀念、即ち自己暗示もある)即ち暗示は一つの觀念が强く現れて他の觀念が起らぬ時にその一つの觀念は暗示となりてはの人間を働かすものである、暗示は多く催眠狀態に於て最も能く其の効果がはれるのである。例へば[illegible]々早く便所へ行つて小便をしなさい」と命令的に云ふとむづがらずにやすく〳〵とするものである、之も一つの暗示である

人の姓名に於ても此の暗示作用によつて不識不知其の心も肉体も暗示が働いて變化を來し運命を形造る事は姓名統計に於て現はれて居る、即ち吾々の姓名が靈と密接なる關係があつての姓名によりて神秘的作用を誘發し精神的肉体的活動の開發、杜塞は自然に生ずる結果となるのである、故に受動的にして發動的なる命名は心靈に對する暗示となつて其の姓名より得た自覺は他日發動的の行爲となり思想となり感情となつて其の一生の運命を支配するに至るのである。實に姓名は靈魂の姿であつて其人の本性を現はすと云ふたのは是である

故に姓名を重んずるは己を重んずる事であつて即ち社會を重んずるからである、社會なくして姓名は存在しない、姓名は社會に於ける個人の存在で其の名の當を得ざる者は其の存在を認められないのは明かである

又信仰も暗示である。信仰は即ち感情であつてこの感情が强く働くのは即ち觀念が强く働くのである。信仰の力は即ち暗示觀念の力である、佛教の觀音力、基督教の聖靈の働き皆な此の暗示觀念の力がなすのであ

廣告

美味で評判の
イワキサロン
平町電三五二

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉强スル當店へ
內外銘木
建築材一式
便利瓦
平町紺屋町
(余)織田材木商店
電話四六〇番
椪優良材碁將棋盤アリ格安讓リタシ。

吸入用酸素
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
◎秤ノ取り・繕ひ・糸かけ・修繕・取換致シマス
磐内藥局
電話四〇番

謹啓　初冬の候各位益々御清祥の段奉大賀候。陳者弊店儀今般平町二丁目通り中野洋品店向側へ移轉仕り候尚既製品豐富取揃へ申候間倍舊の御愛顧御引立賜り度先は移轉御通知旁々御案內申上候
昭和九年十一月
平町貳丁目通り(中野洋品店向側)
高島屋洋服店
電話三八六番

冬吳服大賣出し
十二月一日より十二月七日迄
この良品でこの安値!眞にお買徳の冬吳服!
この賣出し大奉仕品豐富!
御婚禮衣裳大提供
赤札特賣品
新柄モス着尺　二圓八十錢
紡績夜具地　八十八錢
ニコ〳〵絣新柄　九十五錢
本場銘仙　二圓八十錢
新柄秩父夜具　三圓
おつとめ品
七五三祝着特賣
友禪縮緬、富士絹友仙、新柄友仙モス、中巾丸帶
御袴、四ッ身紋付
三井吳服店

貸切の御用命は
「尼子タクシー」へ
六四〇番
御願致します
長距離は御相談に應じます

產科
婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井坂醫院
平町田町(元會津醫院跡)
電話五五九番

每度各別の御引立に預りまして難有御禮申上ます。
扨て燈下親しむの秋明るく經濟なマツダランプは自十一月十五日至十二月卅一日の期間中一ヶ御買上毎にマツダ會聯盟名入の粗品を差上げることに致しました。これは前にも申上げました通り再製不良品を安く販賣するものがありますので之等と區別して戴き度い心根で御座います。宜敷此の機にマツダランプの眞價を御認め被下樣併せて御願致します。
東京電機株式會社
マツダ會聯盟

恐ろしい傳染病の豫防に
簡便な內服ワクチンを
一人分　¥0.30
注射と同樣な豫防効力のある便利な內服ワクチンでチブス、パラチブスA・B、赤痢、コレラを防ぎませう。
善は急げ豫防は早く
西村屋藥局
平2電3

自轉車ノ月賦販賣
御通知次第御伺ヒ致シマス。
エビスヤ自轉車店
平町南町　電六六四

安價で効果的な天然加里肥
最も適應する作物!
蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
☒茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱き作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
☒如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません
一俵參拾錢(大量取引は特に割引致します。)
製造販賣　金成國雅
平町鎌田　電話六八八番
貨物自動車の御用命に應じます。

新進の店　堅實な店
本日開業
公社債、勸業債券高價ニテ買受ケマス
水戶市ヨリ來マシタ株式店ヲ御利用願ヒマス
公債、社債株式實物賣買
友部株式店
平町三丁目
電話一七七番
株は一株から
債券は一枚より

外科
內臟外科
レントゲン線
病室完備
醫學博士　諸橋鐵彌
新川町二七(電四六四)

郡下四町十一ヶ村へ 濡れ米六百六十俵配當

俵五圓五十錢乃至六圓九十錢 即金制だが事情で延納も許す

本縣では先般政府所有の濡れ米三萬俵を拂下げ縣下凶作地にそれぞれ配當、郡下では山間部村落へ四百八十九俵を配當されたが今回第二回分四千四百二十六俵を該當九十三町村に配當した價格は五圓五十錢と六圓五十錢の二種で代金納入は原則として即時を希望するも特殊事情に依つて即時支拂ひをなし得ざるものには明年三月末日まで延納を許すことになつてゐる、尚右濡れ米は郡山の倉庫に到達してゐるから受書と交換に直に配給の手續きが取れる筈である、郡下今回の數量次の如く六百六十俵（四町十二ヶ町）である

△植田—七〇△山田—五〇△上遠野—五〇△川部——四〇△飯野—三〇△江名—三〇△鹿島—四〇△小名濱—三〇△玉川—四〇△好間—四〇△赤井—四〇△草野—七〇△四倉—三〇△大野—五〇△平窪—五〇

川前で配給 成績頗る良好

郡下一の凶作地川前村の大阪濡れ米の配給は一昨二十九日村役場が青年團、消防組等の應援を求め行つたが到着總數九十八俵中腐敗して食用に供し得ざるものは僅かに三俵であり中には一俵四斗一升五合位のものもあり一斗以上減が十五俵、同以下の減四十俵で玄米九十五俵が白米九十二俵になつた程の良質で郡下では最も良く濡れ米としては稀に見る良品であつたと配給は一戸當り四斗から二升の間で價格は一俵八圓升二十二錢で村民一同は僅少ながらも喜んで居ると

凶作地の死兒續出

憂ふべき現象に 對策を練る山村方部

窮乏のドン底にある三坂、澤渡方部住民は救濟土木工事により多少潤されて居るが尚その困憊振りは甚しく最近農繁の傍これら道路改修工事に出役し生後一ヶ月乃至四ヶ月位の乳呑兒迄連れて工事場、往復するなどの關係か、兎角手當が行き屆かず榮養不良などに原因急性腦膜炎などで茲數日間　急死したもの五、六名を算する憂ふべき現象に村當局では之が對策に目下頭を惱してゐる

兒童に映つた 不景氣の姿

第一の詳細な統計

平第一校では一昨廿九日不況對策の基礎調査として保護者會費、授業料の未納、保護者職業、兒童服裝、貧困兒童を全校生千四百二十六名に就き調査したが服裝では千三百九名中（はしかにて缺席の者多し）

上二七〇　中一、〇四五

上九四

で六年生が最もよくその種別は小台服が最多で千二百二十二名、和服は僅かに七名その他

セル、ラシャ、毛類一三八、毛糸類一五　その他二五

の如くである、職業では不況對策の趣旨から特に農業及び勞働者に就いて調査したが農業は四十三名で六年生に最も多く

上六　中二五　下一八

の生活程度、種別では田畑小作が四十、果樹　藝一、養蠶一である、勞働は百一十三名で三年生に最も多い生活程度上なるものなく

中二九　下九四

の程度で種別では日雇最も多く五十二　その他

行商二四　職工一七　車力、馬車挽各四　土工二

その他二〇

である

。。。。。免租申請協議　平稅務出張所では來る四日午前九時から平團体事務所で郡下各町村收入役稅務主任會を開き今年度冷害地免租申請に就き協議する

燐寸行商の純益を 凶作地子弟へ贈る

青年校の同情金造成

磐城青年學校生徒は略ね農村の子弟なのでいたく會津地方凶作地民に同情し過般兩三回に亘り小遣錢に慰藉文を前記凶作子弟に送つたが此程更に上級生から義金募集の申出であつたので學校當局でも協議の結果此際生徒の勞力によつて同情金を造成すべく去る二十八日から明後三日迄全校生徒が放課後市內をマッチ行商中で近く純益金を縣社會課へ送る事になつたと

豫算復活個所調査

遠藤土木技師來郡

豫算削減の餘波を受けて折角御膳立ての成つた藤原、仁井田、夏井の各河川工事費が削減の瀬戸際にある狀態から過般寄沼町長等が地元選出代議士などの援助を受け當局に陳情した旨既報の如くであるが縣ではこれら關係河川に於ける技術上捨て置き難い個所の豫算復活運動に基く調査のため、同土木課遠藤技師が昨三十日來平小林土木監督所長及高橋夏井川改修事務所長の案內で實地踏査した

二縣議へ 運動を懇請

鐘紡工場と平町

鐘紡工場設置運動のため平町では今一日目下開會中の縣會關係で陳情のため上京した井上、野崎、萩原の地元三縣議宛同東京工場訪問懇請の電報を發した

天狗は躍る

平署扱の狩獵免許 結局百七十名位か

初冬の空に轟く銃の響き！狩獵戰線も愈々酣に入つて平署の免許下附も殆ど毎日のやう、昨三十日現在の交附者は

甲種十名、乙種百十二名計百二十二名で、現在では未だ昨年の數に上つてはゐぬが今後の申込者もあり百七十名位になるであらうと

巴里國立劇場出演が土產に

われ等の テナー 藤原義江 (1)

＝一九三二年第六回の歸朝＝

我等のテナー藤原義江は昭和四年日本樂壇に旋風的な人氣を背負つて、全日本及滿鮮にわたり百餘回の獨唱會を開き尙最後に關屋敏子孃と共に大歌劇『椿姬』を東京歌舞伎座に於て三日間上演し大いに人氣を得、何物かを胸に密めて勇ましくも、第六回の渡歐をした

爾來故國の各方面から絕大なる聲援を受けたことに對し深い感銘した彼は、一つの大きな目的に向つて專ら努力した。この永年の目的は果然藝術の都巴里の國立歌劇場、ブタペスト國立劇場、其他ヨーロッパの各大劇場に於て歌劇『ラボエム』『リゴレット』『トスカ』『ルチア』等の主役テナーとしてオペラ界に華々しい活躍であつた。氏が今日まで進んで來たみちは並大底の奮鬪ではなかつた。或は倫敦ローヤル、アルバードホールへ出演したこと、又は紐育カーネギーホール羅馬音樂堂等を始め實に歐米七十二都市に出演し涙の足跡を殘してゐる。斯くして我等のテナト藤原義江は見事に世界的オペラ歌手として歐米樂壇に名をなすに至り、其の榮譽を贏ち得、

之れを土產に本年六月十二日二年半振りに歸朝したのである。其日帝國ホテルに荷物をとく暇もなく曲目の選定にピアノ伴奏者との練習に各方面からの招待會等目を廻す忙しさ

第一回の獨唱會は六月廿日京都、廿一日神戶、廿二日、廿三日の二日間大阪、二十四日名古屋何れも大阪朝日新聞社社會事業團主催であり、東京は二十八日帝國在鄉軍人共濟會主催で日比谷公會堂に開催し、翌二十九日は日比谷公園音樂堂七千名の聽衆を入れた。東京に於ける音樂會には入場券にプレミアム付で一圓券を一圓五十錢、二圓券を二圓五十錢といふ想像もつかぬ素晴らしい人氣を呼んでゐ

（平町に巡演の藤原氏）

更生の一 意氣に燃ゆる 平窪の果樹組合

近來の目覺ましい活躍

平窪村果樹組合は同村が今年度經濟更生村に指定されてから愈々內容を充實、各種更生事業と步調を一にし好成績を收めて居るが、現在では共同作業場を設け產物の產出指導販賣斡旋等をなしてゐる外凍豆腐の出荷、柿並農產物の加工、醬油の醸造、製炭竹細工の製作指導等あらゆる農村生產加工品の指導と販賣斡旋などをなし、或る點まで窮乏を克服してゐる

都會の複線

街頭より凝視した 都人士の凶作關心

早大勿來會員　小林忠司

三

川端康成やサトウ・ハチローや大町龍夫が好むやうな娘達が步く、現代文學で背景が淺草のものは吾等の心に非常に嚙みつくのも合點がゆく

御同情を貰ひに來た者が御同情を與へに來たやうなものと言つてゐる友もあつた

昨日よりは少しく多い氣がして元氣になる。珍らしいジンタが聞える。田舍の活動寫眞が思ひ出される。故鄉が懷しい。東北の空が戀しい。凶作地の人々が哀れに思はれること切なり

第三日　銀座三丁目—五丁目

午前九時本部に集合、東日の寫眞班が來て大隈講堂前で記念撮影をする。午前十時尾張町に出た

僕は狩谷、杉浦兩君と松坂屋の筋向ひに陣どつた淺草の賑ひとは違ふ。淺草を後にした時の淋しさはなく、華やかなアトモスファイヤーの中に浸れば、眞晝の事とて、一寸銀座で怒鳴るのは氣遲れした

一番始めに誰が貰ふだらうか。又どんな人が入れて呉れるだらうか。はこの運動をした人の最も興味ある事だ。初日には小僧さん、二日目は娘さんだつた。果して今日は？

銀髮の外國婦人が來た。思ひ切つて私は問ひかけたHALLOW！と笑ひながら言つたら彼女はHOW DO YOU DO？と來た。そこで

PLEASE HELP OUR BROTHERS. THE PEASANTS IN THE NORTH—EAST OF JAP NARE SUFFERING FROM THE BITTER COLD, HUNGERS AND STARVATIONS. WILL YOU KINDLY GIVE THEM YOUR WARM RELIEF.

と即製のギゴチな、英語で說明した。彼女は即座にＯ・Ｋと言つて、ハンドバックから金を鷲掴みにして、三人の箱に入れて呉れた。餘り多額だつたので思はず三人で顔を見合はせた

THANK YOU VERY MUCH FOR YOUR CHARITY.

と感謝したらニッコリ笑つて去つて行つた

夜の銀座は螢籠。美しい服裝で步くべしとは銀ブラ第一課なのかしら。男も女もリファインされた服裝で足取りで散步して居る

エトランゼはよいもんだと思つたのは後に五人の外國婦人が通つたが皆笑ひながら入れて呉れたからである

本社主催 短歌同好者の集ひ

あすマルトモホールで

本社主催の短歌會は既報の如く明二日の日曜を卜し午前十時から平町四丁目マルトモホールに於て開催するが劈頭本紙歌壇選者新妻磐女教諭の『明治、大正歌壇の代表作者とその歌論に就て』と題する前後約一時間の講演あり了つて課題『煙草』『近詠』各二首以內に就て互選批評に入る筈で出詠者以外の出席も歡迎する

。。。。。小鳥好きの曲事　內鄉村大字白水字舘井場無職高橋養吉（六五）は無免許で去る本月十二日同村峯根地內で禁獵の鶯一羽、十一月六日は舘井場地內で山雀一羽を捕獲、飼育中發見の平署員に死亡者（）無効許可證を示し胡麻化さんとして見破られ昨三十日平署に檢擧された

客に喫かされたか

小名濱金來亭の酌婦 前借を踏んで逃亡

小名濱町沖見町一料理業金來亭事平金藏方酌婦山形縣西村山郡西村山村生れ佐藤フサ（二四）は去る二十六日午後一時半頃前借百二十餘圓を踏倒して行方を晦ましたが同二十四日夜登樓した三十五、六才位一見料理屋番頭風の男にそゝのかされたものらしいと昨三十日抱主から平署に搜索方を願ひ出た

通勤二千名

市外居住者の 平町內就職數

平町役場調査に係る現住市外居住者の市內に職を持つものの數は男千二百八十九

醫師法違反

物騷な大先生檢擧

双葉郡津島村大字津島字東館四七鹿兒島市上ノ園町生れ無職元東京市京橋區某醫院雇人前科犯有村爲三（四八）が村、診療所等の看板を揭げ無免許で去る七月二十五日相馬郡飯曾村大字北曾字蕨（五三）志賀彌太郎方で同人妻ハクの腸加答兒と診斷注射及び投藥した外同樣數件を働いた事件は過般來平檢事局吉岡檢事係り取調中此程醫師法違反で起訴された

改正平驛發着 列車時刻表

台紙附、体裁優美

二日 愛讀者各位へ配付

惡穀屋へ痛棒

十四名に科料處分 近く第二次摘發

平署で此程管內一齊に行つた不正米穀商摘發極惡者十四名に對し昨三十日科料三圓から最高五圓を言渡され近く再度の摘發を行ふ筈

來年適令者

平町に於ける來年度徵兵適齡者は大正三年十二月二日より同四年十二月一日迄生れの者その數は原籍者が大体二百二名で昨年の百六十九名に比し三十三名の增數で、寄留者目下取締中

鮫川水利組合臨時總會

鮫川堰水利組合臨時總會は昨二十日平町体事務所に管理者長瀬事務官を迎へ開き灌漑區域（留保）寄附金採納、低利償借替、追加更正豫算を決議したがこの結果九年度豫算は追加工事に四萬二千五百八十圓を增額して二十萬餘圓に更正、三萬七千七百圓の農行借入金は現在年七分が大体三分九厘の低利となり今月二十日迄に竣功豫定にある四萬二千五百八十圓の第一期工事の竣功は九年度末迄に繰延べとなつた

郡下海軍兵志願者

來年度海軍志願兵は去る十月三十一日締切りを昨三十日迄延期募集に努めた結果、本郡志願者は縣下各郡最多の二百十二名に上り中平町分は十九名、昨年に比し三名の增加である

。。。。。傳貧馬檢診　石城產馬畜產組合では來る五日より十七日迄傳貧馬檢診を行ふ

連接共同線 新電話受理

平局で去る二十日から昨三十日迄に受付けた連接、共同線加入電話の申込は連接三、共同線一で從來は本電話との感情等から中途で廢止する傾向がありその繁雜さ等のため募集はしても殆ど許可しないと言ふ矛盾振りであつたが既報の如く特別會計による處から相當數を許可するでないかと觀られる

鈴木夫人長逝

好間村收入役鈴木榮一氏令閨千代さんは今曉二時長逝した行年三十一歲、葬儀は明後三日午後一時出棺小谷作龍雲寺に於て執行すると

。。。。。博覽會後援協議　平町では明二日午前九時半から町會議事堂で明春開く『滿蒙と產業博覽會』の後援方法其他に關し協議會を開くと

。。。。。古河弓道庭球會　好間村古河炭鑛主催の郡下弓道選手權大會は明二日午前九時から同鑛弓場に開く、尙同鑛從業員庭球納會試合は同日忽滑コートで開く

。。。。。平消防顧問推擧　平消防組前副組頭柏原幸次郎氏は此程同組顧問に囑託さる

。。。。。狡い朝鮮古物屋　內鄉村大字堀坂居住朝鮮慶尚南道木浦郡富仁面生れ朝鮮飴屋島田三郎事李伯敬（五〇）は無免許で江町不詳小見から古鐵類、空瓶等を買受け之を同村新町某古物商に賣却した事發覺、此程平區より略式で罰金十圓に處された

卷の埃

今一日よりの列車時刻改正で各列車が早くなつたため無頓着な乘客は少からず面喰ひ發車後『何時もの汽車がある筈だ』『そんな筈はない』等々約十名位がとんだナンセンスを演じ驛員に改正時刻表を見せられ苦笑して居たのもある

當山住職鈴木積善儀豫テ病氣療養中ノ處藥石効ナク本月十七日午前九時四十分遷化被致候、就テハ來ル十二月二日午後一時ヨリ如來寺ニ於テ本葬執行仕候條此段御通知申上候也

（御遺骨十二月一日午後一時五十二分平驛着）

昭和九年十一月二十五日

功蓮社德譽專阿眞道積善

福島縣石城郡夏井村矢ノ目

如來寺

遺弟　法類　檀徒總代

二日

日出　六、三二　月出前　一、三八
日没　四、二八　月没後　一、〇九
滿潮前　一、三〇　干潮前　七、三〇
滿潮後　一、二〇　干潮後　八、四〇

三日

日出　六、三三　月出前　二、三九
日没　四、二八　月没後　一、三七
滿潮前　二、五五　干潮前　八、四五
滿潮後　二、〇五　干潮後　九、二〇

諸判定處　東京市本鄉區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

舊十月二十六日　丁未　大安　昴宿　日曜　新十二月二日

▲一白の人　失費の多き割合にりじゆんは少なき不釣合の日▲二黑の人　一時的の對策は後日に悔あり根を正すが吉▲三碧の人　邪智をほしいまゝにして遣繰り算段は破滅の基なり▲四綠の人　諸事失敗勝ちの日進出には時機未だ至らず▲五黃の人　急に捗らざれども成行に任せて進むが吉し▲六白の人　好機到來す勇氣を奮ひ立て努力するが吉▲七赤の人　身に活氣と希望の集まり來る日進みて吉し▲八白の人　運氣不充分なるを覺悟して靜かに本業守れ▲九紫の人　目上との衝突を避け溫從謙質に萬事を謀れ

舊十月二十七日　戊申　赤口　畢宿　月曜　新十二月三日

▲一白の人　定業に安んじ著實なれば天惠自ら廻り來る▲二黑の人　愼重に行動すれば益々發運を呈すべき吉日▲三碧の人　交涉事は總て當てにならず又人を頼るは凶▲四綠の人　家事を整へて他事に心を移さゞればとがめなし▲五黃の人　辛苦奮鬪すれば次第に發展を見る病難注意▲六白の人　次第に勢力の加はる日眞面目なれば利多し▲七赤の人　物事自由に振舞ふときは過ちを起し易き日▲八白の人　衆への引立多大にして存外の發展を見べし▲九紫の人　業務振はず爭論訴訟の起り易き日自重せよ